

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	千葉県	事業実施主体	千葉県	地域再生計画名	海と風の銚子みなと町活性化計画
計画期間	令和5年度～令和9年度	評価責任者	千葉県総合企画部長、農林水産部長、県土整備部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標1	目標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数		
	銚子市における観光入込客数の増加	外川漁港における漁獲量の確保・維持	1,748千人	R3	2,000千人	R6	2,130千人	2,400千人	R9	○	2	1	中間目標値を達成した。引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。 例年より時化が多く出漁日数が減った為、中間目標値は基準値より下がっている。事業効果発揮に向け、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R6)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設		-	-	-								
	物揚場（-3.5m）補修		140m	90m	140m	当初計画に対し、施設延長から見る進捗率は、64%であった。令和7年度中の完成を予定している。							
	防波堤改良		70m	35m	70m	当初計画に対し、施設延長から見る進捗率は、50%であった。令和7年度中の完成を予定している。							
	港内防波堤		300m	0m	300m	当初計画に対し、施設延長から見る進捗率は、0%と遅れている状況である。また、洋上風力発電事業者の撤退を受け、整備内容の変更や計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	物揚場（-3.5m）		368m	0m	368m	当初計画に対し、施設延長から見る進捗率は、0%と遅れている状況である。また、洋上風力発電事業者の撤退を受け、整備内容の変更や計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	浚渫（航路泊地）		140,000m3	0m3	140,000m3	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は、0%と遅れている状況である。また、洋上風力発電事業者の撤退を受け、整備内容の変更や計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	漁港施設		-	-	-								
	D号護岸		191.5m	0m	191.5m	令和7年度より整備工事着手予定であり、引き続き、計画完了年度までの整備を目指していく。							
	沖東防波堤		40m	0m	40m	D号護岸を優先的に整備しており、また工事実施には、ブロック製作ヤードの確保等の課題があることから、引き続き実施方法について検討していく。							
その他の事業	『ふるさと銚子』元氣創造事業		ふるさと納税の寄付金を、銚子市が誇る豊かな自然・歴史・文化などの貴重な財源を活用し「ふるさと銚子」の元氣を創造する。			地域再生を図るために行う事業を実施するにあたり、ふるさと納税による財源をより柔軟に活用するため、「元氣創造事業」を含む3つの事業を「ふるさと銚子ひとまちづくり推進事業」に統合した。学校給食費の無償化、子どものインフルエンザ予防接種の助成などの子育て支援対策や、夏に行われるみなとまつり（花火大会、神輿パレード）の実施経費負担、銚子港水産まつり事業費の補助などに活用し、地場産業の振興・地域活性化、生活基盤の整備、教育・文化・スポーツ活動の充実を推進している。							
	ゼロカーボンシティ 銚子		2050年を見据えた脱炭素化の実現に向け、官民連携による再生可能エネルギー導入の推進、地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全への貢献に長期的な視野で取組むため、「ゼロカーボンシティ」を表明。			2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロを目指すゼロカーボンシティの実現に向け、令和3年2月に策定した「銚子市ゼロカーボンビジョン」の実効性、効果を強化していくため、内容が共通する「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地球温暖化対策実行計画（事務事業編・区域施策編）を統合したゼロカーボンビジョンへの改正を行った。令和7年3月には、銚子商工会議所、地元金融機関（銚子信用金庫、銚子商工信用組合）、銚子電力株式会社（銚子市が50%出資し設立した地域新電力会社）と「食の脱炭素シフトによる創業・事業承継を通じたグリーン社会の実現に向けた連携協定」を締結し、地域資源を活かした創業・事業承継支援を推進するとともに、中小企業や小規模事業者などの脱炭素ビジネスが持続自走できる環境整備に取り組んでいる。							
	「千葉ブランド水産物」生産水産物第1号「銚子つりきんめ」		「千葉ブランド水産物」生産水産物第1号として認定され、国内外で高く評価されている「銚子つりきんめ」について、生産者は資源が持続的に利用できるように、操業時間、操業日数の制限や小型魚の再放流など、資源管理に取り組んでいる。			外川漁港を拠点とするきんめだい漁の経営安定を図るため、資源管理、魚食普及等の取り組みを漁業者自らが継続して実践している。平成18年に千葉ブランド水産物第1号に認定された「銚子つりきんめ」のブランド力をさらに向上させるため、PR活動資材の作成や直売イベント等の開催、生産者によるSNS等での随時の情報発信を通じて、銚子市内外の消費者に向けたPR活動を実施し、「銚子つりきんめ」の認知度の向上を図っている。「銚子つりきんめ」のさらなる販路拡大・販売促進を目的として、タイ王国への訪問を実施しており、今後も継続的に実施することとしている。							
	水産物供給基盤機能保全事業		浚渫工事による漁港内の水深確保等を継続的に行うことで、安全かつ円滑な漁業活動を維持する。			安全かつ円滑な漁業活動を維持する為、継続して事業を実施している。							
	銚子港水産まつり		例年11月上旬頃に開催され、同時開催される「きんめだいまつり」は、千葉ブランド水産物「銚子つりきんめ」の販売のほか、漁協女性部による食堂やきんめ釣りVR体験コーナーなど、人気を博している。			令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面式でのまつり開催は中止となっていたが、令和5年度から、対面式でのまつりを再開し、来場者数は令和5年度は約6,000人、令和6年度は約10,000人と地域住民だけでなく県内外からの注目度が高いまつりとなっている。同時開催される「きんめだいまつり」に関しても、「銚子つりきんめ」の販売など早朝より購入希望者来場し大盛況である。地元水産物・水産加工品のPR、魚食普及、販路拡大等を図っていく事業であるため、令和7年度以降も継続して実施予定である。（主催：銚子市漁業協同組合、後援として銚子市）							

	<p>国の名勝・天然記念物「屏風ヶ浦」</p> <p>屏風ヶ浦の海食崖は、約310万年から90万年前の地層を観察できる旭市の刑部岬まで続く10kmの崖であり、平成28年に国の名勝及び天然記念物に指定された。銚子市は現在、屏風ヶ浦の学術的価値を守りつつ観光資源として活用する「屏風ヶ浦保存活用計画」を策定中である。</p>	<p>屏風ヶ浦の学術的価値を守りつつ観光資源としての活用を図るため、令和5年度に「国指定名勝及び天然記念物『屏風ヶ浦』保存活用計画」を策定した。また、銚子ジオパーク協議会においては、屏風ヶ浦を含む銚子ジオパークの魅力を伝えるため、講演会やジオガイドなどのイベントを実施している。</p>
	<p>イルカウォッチング</p> <p>銚子市沖は、餌を求めて野生のイルカやクジラが集まる絶好のウォッチングポイントになっており、ウォッチングツアーを実施している(有)銚子海洋研究所は海洋ゴミ回収プロジェクト活動を開始し、海洋生物の安全を守るとともに、海洋ゴミの回収や、地元海水浴場を中心にビーチクリーンの啓発活動を行っている。</p>	<p>イルカやクジラのウォッチングツアーなどのクルージング事業を年間を通して実施している。また、海洋生物の安全を守るため、海洋ゴミ回収プロジェクトやビーチクリーンなどの啓発活動についても定期的に実施している。</p>
	<p>スポーツ合宿誘致を核とした「スポーツタウン」ブランディング事業</p> <p>旧銚子市立銚子西高校をリノベーションした「銚子スポーツタウン」は、スポーツツーリズムを通じて地域活性化を図っている。</p>	<p>スポーツ普及活動として、リオ五輪トライアスロン日本代表の加藤友里恵氏によるランニング教室など実施した。また、スポーツ合宿施設としての利便性の向上を図るため、体育館等のエアコン新設や野球場の外周ネットフェンスの改修を行った。</p>
計画外で独自に実施した事業		
③評価方法	千葉県地方創生総合戦略推進会議（12月開催）にて、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。	
④中間評価の公表方法	千葉県のホームページに掲載	
⑤計画全体の総合評価	<p>・本地域再生計画では、名洗港と外川漁港を一体的に整備し、銚子市の強みである漁業の振興を図るとともに、地元で獲れた魚を用いた水産加工品を生かした地域振興事業や既存の地域観光資源と洋上風力発電事業による、新たな観光スポットにより、観光振興・水産振興を促進し銚子地域全体の活性化を図ることを目的としている。</p> <p>・計画の目標については、2項目中1項目が中間目標を達成した。</p> <p>・なお、指標1の銚子市における観光入込客数の増加については、現時点で目標達成の見込みである。引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。指標2については、中間評価時点では基準値より低下がみられるが、現時点で目標達成の見込みである。引き続き計画に則した漁港施設の整備を図り、目標達成を目指していく。</p>	
⑥今後の方針等	<p><b>中間評価結果の反映状況</b></p> <p>地域再生計画の見直し（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>令和7年度予算要望額への反映（ <input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ）</p> <p>有りの場合の増減額 <input type="text"/> 千円</p>	<p><b>有りの場合その具体的内容</b></p> <p>港湾施設（名洗港）においては、洋上風力発電事業者の撤退を受け、整備内容の変更や計画期間の延長を検討する。</p>
⑦今後の方針等に対する対応	<p>港湾施設（名洗港）においては、洋上風力発電事業者の運転開始時期に合わせた計画で整備を進めていたが、事業撤退を受け、時間的な制約が緩和され、整備内容や事業期間を再検討する必要が生じているため、計画変更手続きを行っていく。</p>	